



2月

# 園だより かけはし

キッドワールドこども園  
令和7年1月31日

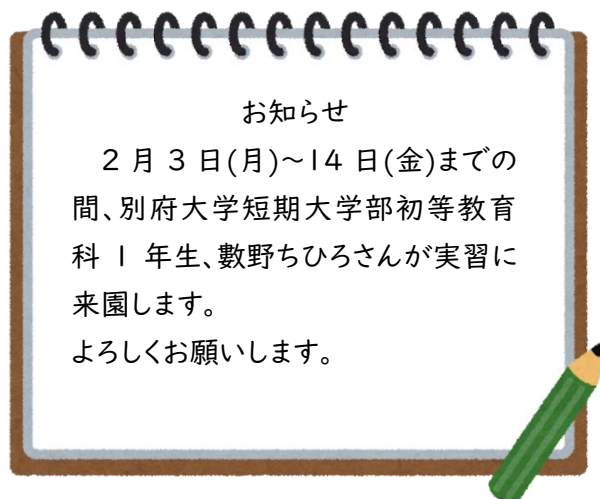
寒い日が続いていますが、園内では子ども達の元気な声と笑い声に溢れ、不思議と寒さを忘れさせてくれます。さて、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ(流行性感冒)も少し落ち着きを見せてはいますが、手洗いやうがいを十分に行い、バランスの良い食事を提供し健康管理に努めていきます。また、定期的な換気や玩具の消毒など行っています。園と家庭との連携のもとに感染症対策にも取り組んでいき、子ども達が元気いっぱい当園できるようご協力お願いいたします。

さて、2月22日(土)は、2・3・4・5歳児の生活発表会があります。生活発表会は、お子さんの一年間の育ちを見てもらおう場となっています。こども園に通う中で、お子さんの成長した姿を感じ取っていただけるよう準備をすすめているので、楽しみにしててください。



## 行事予定

日	曜日	園児に関すること
3	月	豆まき
4	火	発表会リハーサル(3・4・5歳児)、弁当日
5	水	発表会リハーサル(2歳児)、身体計測(4・5歳児)
6	木	身体計測(3歳児)、キッズイングリッシュ
7	金	身体計測(2歳児)
10	月	身体計測(1歳児)
13	木	キッズイングリッシュ
20	木	健康診断、身体計測(0歳児)、キッズイングリッシュ
22	土	生活発表会(2・3・4・5歳児)
25	火	避難訓練
26	水	誕生会
27	木	キッズイングリッシュ



### お知らせ

2月3日(月)~14日(金)までの間、別府大学短期大学部初等教育科1年生、數野ちひろさんが実習に来園します。よろしくお祈いします。



## お知らせ・お願い

- ※ 2月の弁当日は、4日(火)です。子どもさんが楽しみにしています。忘れないようにお弁当をお持ちください。
- ※ 2月の保育料の納入期間は、20日(木)・21日(金)・25日(火)の3日間です。(期限内に納入できない場合は、教頭の奥下の方へご相談ください。)



キッドワールド総合園長 牧野 桂一

子育ての話を書くたびに「『叱るより褒めることが大切』と言ったり『自尊感情が育っていない』などと言われたりするのですが、それはどういうことですか」と聞かれることが多くなりました。そこで、今回は、そのことについて少し丁寧に考えてみたいと思います。

私たちは叱られると、「ストレスやプレッシャー」を感じてやる気をなくしてしましますが、褒められると「とても良い気分になり、やる気がでてる」ことを体験としてもっています。このようなとき「自尊感情」が育ってきたとよくいわれます。

ここでいう自尊感情というのは、「自分自身をどのように評価するか (self-esteem:セルフ・エスティーム)」ということが基本的な定義のようですが、分かりやすいえば「自分をどれだけ愛せているかを測る指標」ということで「自尊心」とか「自己有用感」、「自己肯定感」などともいわれているようです。それは、いい方を変えると「周りから自分が受けている愛情を感じる指数」といってもいいもので、子どもたちだけではなく、私たちも叱られてばかりいると、自己評価が低くなり、「自分は何をしてもうまくできない何の価値もない人間だ」と感じてしまい、我慢したり自分をコントロールしたりすることができなくなり、周りとうまくつき合っていく協調性を失ってしまいます。また、周りからの愛情を感じるができまませんので、心が不安定になってしまい、自分を肯定的に受け入れることができず、ものごとに積極的に取り組むことが難しくなります。

逆に、私たちも褒められたり優しくされたりするといいい気分になって、自分も周りの人の役に立っているという「自己有用感」をもてるようになります。これは、自分がどれだけ必要な人間であるのか、どれだけ社会の役に立っているかということを感じることにつながり、周りの人と仲良くする協調性や困難なことにも精一杯取り組む積極性を育ててくれます。「自己有用感」がもてるようになると自分のことをよく知り、上手に統制する「自己調整感」も育ってきます。それは自信にもつながり、色々なことを自分の思うようにやり自分らしくありたいという自己存在感を育て自己主張をするようになってきます。このように気持ちが満たされてくると自尊感情も高まってきます。このように自分を受け入れ、周りに対して自己主張ができるようになると自分に対して安定的な安心感が育ち「自己安全感」も根付いてきます。そうすると、子どもたちは、良いところもそうでないところも含めて、ありのままの自分が好きになり、一人でいてもいつも周りの人に支えられているという安心感をもって生きていけるようになります。この「自己安全感」は、過去にあった嫌な経験や傷ついた経験などを癒やしてくれる力があり、周りの人とも信頼関係をつくり明るく肯定的に生きていく力を育ててくれます。このように自尊感情が高まると子どもは、「自分はできる」と感じるが多くなり、様々なことに挑戦をし、失敗をしても諦めず、工夫をして乗り越えていくパワーを発揮するようになります。

ここでこの「自尊感情」を家庭の中で育てていくにはどうすればよいかということが問題になるのですが、最後にそのことを少し考えてみたいと思います。

まず、大切なことは子どもをしっかり承認することです。つまり、子ども自身がやってみたこと、考えたことやその表現を認めるのです。そして、「あなたがここにいることが嬉しい」という気持ちを子どもに伝えるのです。そうすれば、子どもは上手いかならないことも大人に見守られていると感じ取り自分を信じ自分を認める力が養われます。

次に、子どもがワクワクし進んで遊ぶことができる場をつくるのが大切です。そのためには、笑ったり、時に叫んだりして私たち自身が子どもとともにワクワクしているのが大切です。さらに、五感を刺激する素材をたくさん与え、自分の好きな感覚や嫌いな感覚を通して自分を理解するようにすると安心して成長をしていけるようになります。

ここで、このように提案していることを家庭で一つ一つ完全には、難しいとは思いますが、できるものから少しずつ取り入れていくと自尊感情も育ってくると思いますので、機会を見て子どもとともに取り組んでみてください。

